

三重県総合博物館の運営と活動

予算額 : 316,250 千円

平成 26 年 4 月 19 日に開館する三重県総合博物館 (MieMu : みえむ) においては、効果的な広報を推進するとともに、開館記念企画展や各種団体・企業との交流展、三重の自然と歴史・文化に関する学習交流プログラム、地域との連携によるアウトリーチ活動など、より多くの県民の皆さんの来館につながる魅力的な活動を展開します。

三重県総合博物館 (MieMu / みえむ)

- 明日を生み出す力 -

■使命

- ◇三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代に生かす
- ◇学びと交流を通じて人づくりに貢献する
- ◇地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献する

■テーマ

三重が持つ『多様性の力』

■活動理念

ともに考え、活動し、成長する博物館

■「協創」と「連携」による博物館活動

- ◇県民・利用者との「協創」により活動を展開
 - ・ミュージアムパートナー
 - ・ボランティア
 - ・みんなで作る博物館会議
- ◇多様な主体との「連携」により活動を展開
 - ・県内外の博物館との連携
 - ・学校教育との連携
 - ・市町との連携
 - ・大学との連携
 - ・企業との連携
 - ・まちかど博物館との連携
 - ・その他諸団体との連携



総合博物館

展示等事業

予算額 : 144,886 千円

調査研究費、展示の企画運用費、広報宣伝活動費等

総合博物館

管理運営事業

予算額 : 171,364 千円

施設維持保守管理費等

総合博物館展示等事業

○展示の企画運用費等 (118,962 千円)

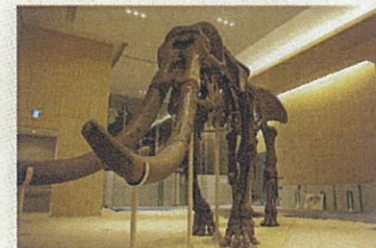
総合博物館が取り組む各分野を代表するテーマによる「開館記念企画展」を開催するとともに、各種団体・企業との連携による「交流展示」、基本展示を補完する「トピック展示」、学習交流プログラムなどを実施します。

《開館記念企画展を6回開催》※タイトルは仮題

- ・第1弾「MieMu発進！」
- ・第2弾「日本の心 第62回神宮式年遷宮写真展」
- ・第3弾「でかいぞ ミエソウ！ ～化石が語る巨大ゾウの世界～」
- ・第4弾「祈りと癒しの地 熊野」
- ・第5弾「ふたりのウェディング事情」
- ・第6弾「親鸞～高田本山専修寺の至宝～」

《交流展示》

- ・三重県博物館協会40周年記念展、三重のまちかど博物館展、企業とのコラボレーション展示など



○調査研究費等 (6,633 千円)

大学等と連携した地域総合研究や資料の収集・修復・保存環境の管理を行います。

○広報宣伝費 (19,291 千円)

開館記念事業、広報キャンペーンを行います。

平成26年度 三重県総合博物館（MieMu／みえむ）企画展示

開館年度の企画展示は、総合博物館が取り組む各分野を代表するテーマによる「開館記念企画展」（6種類）を開催するとともに、各種団体・企業との連携による「交流展示」、基本展示を補完する「トピック展示」などを実施します。

1. 開館記念企画展（6種類）

〔第1弾〕「MieMu発進！」

- ・博物館が収蔵する三重の豊かな自然や文化を物語る資料や次世代が過去や未来を考えるうえで役立つ資料を、博物館の活動やめざす姿とともに紹介。

〔第2弾〕「『日本の心』 第六十二回神宮式年遷宮写真展」

- ・三重県出身の写真家南川三治郎（みなみかわ さんじろう 1945年-）氏が撮影した第六十二回式年遷宮の写真展。写真を伊勢和紙に印刷して展示。

〔第3弾〕「でかいぞ ミエゾウ！ ～化石が語る巨大ゾウの世界～（仮称）」

- ・約350万年前のミエゾウや当時の様々な化石、その後のミエゾウが進化して小型化したアケボノゾウや当時の気候激変の証拠となる化石を一堂に展示。

〔第4弾〕「祈りと癒やしの地 熊野（仮称）」

- ・紀伊山地の霊場と参詣道世界遺産登録10周年を記念して、三重県内に残る文化財等を中心に熊野の歴史と文化を紹介。

〔第5弾〕「ふたりのウェディング事情（仮称）」

- ・いまどきの結婚式の事情や、あまり知られていない三重県の結婚式の風習を紹介。関連行事として、博物館で1組限定の結婚式を実施。

〔第6弾〕「親鸞～高田本山専修寺の至宝～（仮称）」

- ・17年に一度、津市の真宗高田派専修寺で行われる一光三尊仏の御開扉行事にちなんで、専修寺に伝わる浄土真宗の開祖親鸞にまつわる数々の宝物を紹介。

2. 交流展示（主なもの）

- ・「三重県博物館協会40周年記念展（仮称）」
- ・「企業とのコラボレーション展示（仮称）」
- ・「三重のまちかど博物館展（仮称）」

3. トピック展示（主なもの）

- ・「MieMu誕生物語 ～みんなで作った博物館～（仮称）」
- ・「くらしの道具を使ってみよう（仮称）」

1. 開館記念企画展（6種類）

〔第1弾〕開館記念企画展

（仮題）Mi eMu 発進！

【会 期】4/19(土)～5/18(日)

【会 場】企画展示室

【内 容】博物館が収蔵する三重の豊かな自然や文化を物語る資料、また次世代が過去や未来を考えるうえで必要な資料を、資料が持つ“すごさ”とともに紹介します。また、県民の皆さんとともに行った取組を介して、博物館が目指す方向性を提案します。

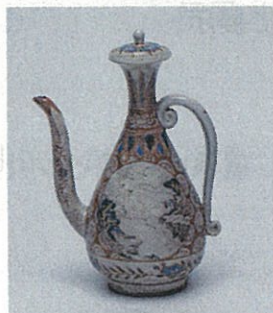
【主な資料】鳥居古墳押出仏、東海道五十三次之内庄野、豊饒御陰参之図、三重県水産図解、伊藤又五郎家文書、古萬古盛盞瓶（こばんこ せいさんびん）、浮絵駿河町呉服屋図、世界のカモシカ類、トリケラトプスほか



歌川広重 東海道五十三次ノ内 庄野



豊饒御陰参之図



古萬古盛盞瓶



世界のカモシカより シロイワヤギ



トリケラトプス

〔第2弾〕開館記念企画展

（仮題）『日本の心』 第六十二回神宮式年遷宮写真展

【会 期】5/24(土)～6/22(日)

【会 場】企画展示室

【内 容】式年遷宮の様々な情景について、百年以上にわたり神宮御用紙として使用されている伊勢和紙の柔らかな素材を活かした写真展を開催します。写真家の南川三治郎（みなみかわ さんじろう 1945年-）氏は三重県出身で、外国人として初めてヴェルサイユ宮殿の全貌についての撮影が許可された人物です。平成20年から第六十二回式年遷宮への取材・撮影に取り組んでおられます。

【主 催】三重県総合博物館、中日新聞社

【特別協力】神宮司庁

【主な資料】式年遷宮写真



平成26年5月24日(土)～6月22日(日) 三重県総合博物館 企画展示室



〔第3弾〕開館記念企画展

〔仮題〕でかいぞ ミエゾウ！ ～化石が語る巨大ゾウの世界～

【会 期】7/29(火)～9/28(日)

【会 場】企画展示室・交流展示室

(プレ展示 【会期】7/5(土)～7/27(日)、【会場】企画展示室の一部)

【内 容】全長 8m近くある国内最大の陸生哺乳類 -ミエゾウ- の足跡が、展示を行うまさにその場所から発見されました。今回、約 350 万年前のミエゾウや当時の様々な化石、その後のミエゾウが進化して小型化したアケボノゾウや当時の気候激変の証拠となる化石を一堂に展示します。

【主な資料】ミエゾウ明(あきら)標本(実物)、古琵琶湖層群産巨大足跡群(15×5.6m)、コウガゾウ等の全身骨格、全国産出のミエゾウなど化石ほか



ミエゾウ明(あきら)標本



コウガゾウ全身骨格標本



ミエゾウ足跡化石展示イメージ

〔第4弾〕開館記念企画展

〔仮題〕いのりといやしの地 熊野

【会 期】10/11(土)～11/24(月)

【会 場】企画展示室

【内 容】熊野古道伊勢路には、近年の調査研究により沿道付近に比較的多くの古仏が伝来していることが判明してきました。また、熊野信仰の一端を担った熊野比丘尼(くまのびくに)と呼ばれる女性宗教者が布教や勧進活動に用いた「熊野観心十界曼荼羅(くまのかんしんじゅっかいまんだら)」と呼ばれる絵図が県内に残されており、その数は全国的に見てもかなり多いことがわかってきています。この展示では、紀伊山地の霊場と参詣道世界遺産登録10周年を記念して、県内に残る文化財を中心に、新しく得られた知見をもとに熊野伊勢路の歴史や文化を紹介します。

【主な資料】笈摺(おいずる)、熊野観心十界曼荼羅ほか



笈摺(おいずる)



熊野の本地



熊野観心十界曼荼羅

〔第5弾〕開館記念企画展

〔仮題〕ふたりのウェディング事情

【会 期】1/10(土)～3/8(日)

【会 場】企画展示室

【内 容】結婚を考える若い人たちや、華やかな結婚式に憧れる子どもたちをおもな対象に、いまどきの結婚式の事情や、あまり知られていない三重県の結婚式の風習を紹介し、関連行事として、博物館で1組限定の結婚式を行います。

【主な資料】婚礼衣装、ウェディングドレス、みんなの婚礼写真、結婚情報誌、縁結びのパワースポット、三重県の結婚式のおもしろい風習ほか



〔第6弾〕開館記念企画展

〔仮題〕親鸞～高田本山専修寺の至宝～

【会 期】3/21(土)～5/10(日)

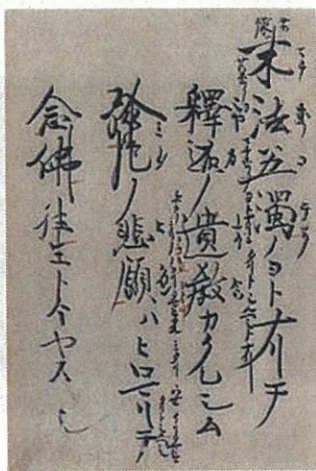
【会 場】企画展示室

【内 容】17年に一度栃木県から、一光三尊仏とよばれる仏像を招いて三重県津市の真宗高田派専修寺でおこなわれる、御開扉の行事。この仏像は浄土真宗の開祖親鸞が関東の門弟らに伝えたと言われ、専修寺には親鸞にまつわる数々の宝物が伝わります。この企画展では、御開扉の行事にちなんで、これらを一挙に公開し、三重の地にはなひらいた阿弥陀信仰の世界を展覧し、親鸞がその弟子たちと広めた思想を今に伝える枢要の寺として専修寺が存在することを紹介します。

【主な資料】西方指南抄(国宝)、三帖和讃(国宝)、絹本着色阿弥陀三尊像(重要文化財)、紙本淡彩歌仙像(重要文化財)、木造阿弥陀如来立像(重要文化財)、専修寺聖教(重要文化財)ほか、重要文化財多数

【国宝】

【重要文化財】



三帖和讃(親鸞筆)



阿弥陀仏画像



阿弥陀仏画像



善光寺如来絵伝

2. 交流展示（主なもの）

（仮題）三重県博物館協会40周年記念展

【会 期】6/28(土)～7/13(日)

【会 場】企画展示室・交流展示室

【内 容】三重県博物館協会加盟の52機関61施設が集まり、各館の成立に関わる「わが館はここから始まった」という一品を展示します。また、各館の特徴ある学芸員の仕事の紹介をします。

【共 催】三重県博物館協会加盟館園

【主な資料】三重県博物館協会加盟の各館園の創立に関わる資料や特徴をあらわす資料ほか



昭和天皇行幸時の写真：剥製は県博で收藏



宝塚1号墳 船形はにわ

（仮題）企業とのコラボレーション展示

【会 期】10/4(土)～11/24(月) ※予定

【会 場】交流展示室

【内 容】企業との連携により、三重の新たな魅力が発見できる展示を行います。

（仮題）三重のまちかど博物館展

【会 期】11/29(土)～12/23(火) ※予定

【会 場】企画展示室・交流展示室

【内 容】三重県には約500館ものまちかど博物館があり、各館が地域の特色ある文化資産や伝統の技などを展示、公開しています。このような資料等を一堂に会して展示、公開することにより、県民のみなさんにまちかど博物館を知ってもらい、理解を深めてもらう機会とします。

【共 催】各まちかど博物館

【主な資料】各まちかど博物館の資料など

3. トピック展示（主なもの）

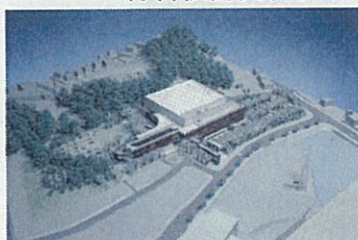
（仮題）MieMu 誕生物語 ～みんなで作った博物館～

【会 期】4/19(土)～6/22(日)

【会 場】交流展示室

【内 容】三重県総合博物館が開館するまで、県民・利用者の皆さんが、“わたしの博物館”と思って大事に使ってもらえる博物館づくりのために、こだわり続けた昭和60年から平成26年の開館までの10,000日間の様子を紹介します。

【主な資料】現博物館の活動写真、新県立博物館の建築・展示製作の検討にかかる模型・資材・材料検討資料、ティーンズプロジェクト関係資料ほか



新県立博物館模型



新博ティーンズプロジェクト



みんなで見つけた建設地の化石

(仮題) 暮らしの道具を使ってみよう

【会 期】 1/4(日)~2/22(日) ※予定

【会 場】 交流展示室

【内 容】 小学校3年生で学ぶ「昔の暮らし」に合わせて、かつて生活の中で用いられていた道具を展示するとともに、実際に使用体験を行います。

【主な資料】 洗濯板 石臼 ダイヤル電話



洗濯板、石臼、ダイヤル電話の展示風景

子供たちが実際に道具を使っている様子

開館まであと64日

みえむ

ミエゾウがMieMuにやってきました！ マッコウクジラも泳いでいます

Stegodon miensis

ミエゾウの全身骨格標本



マッコウクジラの全身骨格標本

新しい県立博物館である三重県総合博物館(MieMu(みえむ))の開館までいよいよ100日となりました。現在、館内では展示工事が急ピッチで行われています。

また、基本展示室の東紀州・熊野灘の自然を紹介するコーナーにはマッコウクジラの全身骨格標本も12月13日に設置されました。骨格標本の全長は8メートル、高さ1.3メートル、重さは約200キロです。大きく迫力のある展示にご期待ください。

明日を生ま出す力

MieMu

みえむ

三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

平成26年4月19日 津市にOPEN!!

三重県総合博物館

MieMu

 みえむ

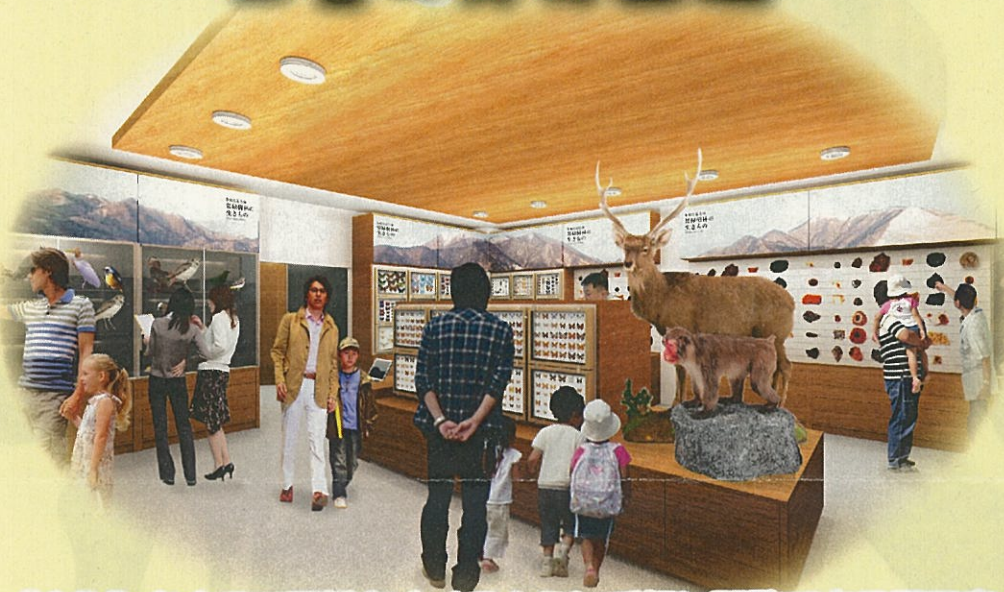
三重県総合博物館は、三重への理解と愛着を深め、
夢や希望あふれる未来を拓くきっかけを得られる博物館です。

基本展示室



三重の自然と歴史・文化がもつ
素晴らしさがよく分かる展示室

三重の実物図鑑



“実物”をまるで図鑑をめくるように手軽に閲覧できる展示室

こども体験展示室



訪れたこどもたちが「遊ぶ・楽しむ」を通して、
博物館の楽しさや三重のすばらしさを
知るきっかけとなる展示室

【利用情報】

■開館時間

- ・展示エリア
[火～金] 9～17時 ※例えば、ゴールデンウィークや夏休み期間等の多客時は開館時間を延長するなど、柔軟に対応予定
- ・エントランスエリア、交流創造エリアなど、来館者の活動エリア
[土、日、祝] 9～19時
- ・エントランスエリア、交流創造エリアなど、来館者の活動エリア
[休館日を除く全日] 9～19時

■休館日

- ・月曜日（祝日の場合は翌日）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）
- ・別途定める日（特別休館日：くん蒸期間中など）

観覧料

三重の実物図鑑やこども体験展示室などの交流創造エリアは無料でご利用いただけます。

	基本展示室	観覧料	団体 (20名以上)	年間 パスポート券
当 日 券	一般	500円	400円	1,600円
	学生（大学、 各種専門学校等）	300円	240円	1,000円
	高校生以下	無料	無料	設定なし

※企画展はそのつど観覧料を定めます。
※観覧料については、消費税率の引き上げに伴い、今後、変更を予定しています。

三重県総合博物館

MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県環境生活部 新博物館整備推進プロジェクトチーム

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田3060
(三重県総合文化センター向かい)

tel 059-228-2283 fax 059-229-8310

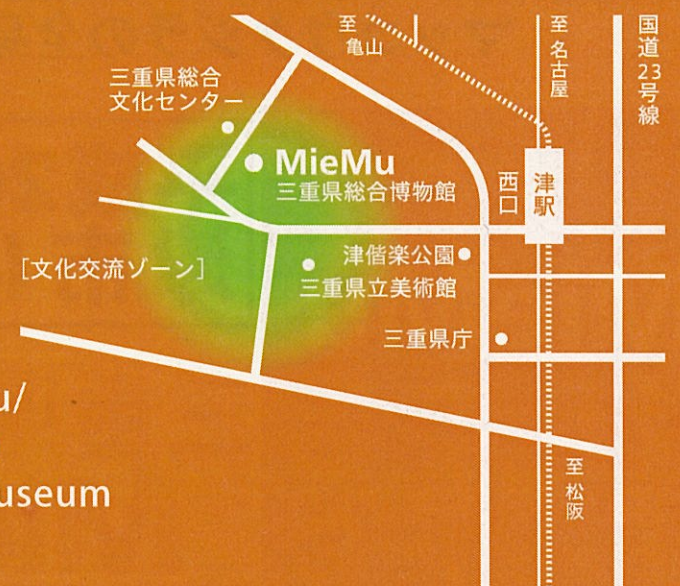
mail MieMu@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>

ツイッター https://twitter.com/mie_pref_museum

フェイスブック <https://www.facebook.com/mie.pref.museum>

「MieMu/みえむ」は公募1061点のなかから決まった三重県総合博物館の愛称です。
「三重」の「ミュージアム」を意味するとともに未来に託す三重の夢を表しています。



ご意見や
お問い合わせは
こちらまで